

8 5万円のSecond Opinion

またまた internet で情報を探し、奇跡的に受診予約を取った

抗癌剤を投与されている間、いろいろとじたばたした。それらの結果については順次紹介する。G 病院の消化器内科の担当医は「G 病院 6 人の消化器内科医は同じ見解だ、この病院で日本の標準治療法を決めている。」と胸を張った。Internet には同じ薬剤を使っている、違う治療法の情報がたくさん上がっている。そこで、それらを含めて second opinion を訊こうと思い、TV や雑誌にも登場して、自らも都内の S 病院を借りて自分の主張に沿った治療をしている H 医師に私費で受診することにした。

H 医師は毎週土曜日の午後に各 1 時間の受診ができ second opinion を出してくれる。自費なので、1 時間で 5 万円という高額であるにもかかわらず、受診予約を取るのはいへんであるという前評判だった。S 病院の予約専用電話に、予約開始日の開始時間に家族総出で dial した。運良く倅の携帯が繋がった。2 週間後の 15 時に予約が取れた。

H 医師は元 G 病院の外科医だったが抗癌剤治療をやるようになった

場所は G 病院にほど近い S 病院の一室であった。H 医師は、second opinion を出すに当たって、担当医からの状況説明書の入手を求めていたが、G 病院の担当医はとうてい出すはずがないので、A 医師から貰った T 病院への紹介状に添付してあった CT 画像と、患者である妻が記録した治療および血液検査の記録を整理して、質問事項を A4 用紙数枚にまとめて持参した。原因は後で分かったが、当日妻は高熱を出してとうてい出かけられる状態ではなかったが、ここが命の分かれ目と考えて家族全員で車で出かけ、妻は受診時まで車の中で待った。

15 時の予約であったが、前の患者が医師だったそうで、治療方針の話し合いが長引き、H 医師に会えたのは 15 時 30 分近くになってからであった。H 医師は用意した文書を読んで、このくらい正確に状況が記載されていれば、担当医の説明書以上だと誉めてくれた。H 医師は元 G 病院の外科に勤務していたことがあり、G 病院の問題点や他の病院に対しての質問にいろいろと的確な情報をくれた。相談の内容は録音 tape に記録して渡してもらった。

私と妻は G 病院の内科担当医から受けたモヤモヤを晴らすのに 5 万円払った

H 医師の second opinion は要約すると以下のものであった。

- (1) 妻の肝臓の転移巣の大きさと成長速度から見ると、このままでは来年の春ぎりぎりまでしか持たない
- (2) 肺の多発転移には現在のところ抗癌剤以外には治療法がない
- (3) G 病院で採用している抗癌剤治療法だけでは、CPT11 まで使って運良く画像上で癌が消滅しても、癌の性質が変わってすぐ再発する事例が非常に多い
- (4) G 病院での抗癌剤治療は、病院の方針でいま受けている方法以外の選択の余地はない
- (5) 都立の K 病院は各県にあるがんセンターと同等の機能を有していて、抗癌剤治療については G 病院よりはるかにましである
- (6) 大学の附属病院は、抗癌剤治療には熱心でないところが多く、それが多数の癌難民を生みだしている
- (7) T 病院の S 医師がやっている肝臓の治療それ自体は評価できるが、妻の場合は山火事の中で一軒家だけを消火するようなものであるから、治癒の見込みがないので、延命効果がある抗癌剤治療を受けることを勧める
- (8) 漢方薬などの併用で抗癌剤の副作用を抑える治療法は、ちゃんとした医師の診察を受け

てやるのなら有効かもしれない

結局は，一般的な回答内容である上高額な相談料ではあったが，自分でいろいろと調べて考えて結論を出すよりは，的確な指標が得られたということでは，とくに私にとって成果があった。G 病院の消化器内科の担当医の態度により世の癌医に対する不信感が芽生えていた妻にとっても，癌治療に真剣に立ち向かっている医師がいることが，何よりの精神安定剤となった。

癌治療に対しての second opinion はぜひとも訊くべきである。妻の最初の手術に関しても，最初に精密検査を受けた N 病院，癌の告知を受けた H 診療所の S 医師などの意見が同じであったので，G 病院の A 医師の説明が理解できた。本人だけでなく周りの家族も手術や治療の方法について納得行かないまま進めるのは，精神的な負担が大きく患者の家庭にいらぬ不安をもたらす。最悪は家族同士で揉める結果になる。たとえ最良の治療法が選択できなくても，次善あるいは覚悟の上の治療であれば，最悪の事態になったときに後悔する度合が下がる。

この項終了

©2003 Dr.YIKAI